

( 第1学年 国語科 )

教科のねらい

- 国語への興味や関心を持ち、意欲的に学習を進める態度を育てる。
- 自分のものの見方や考え方を深め、目的や場面に応じて的確に話したり聞く力を身につけさせる。
- 様々な材料をもとに自分の考えを深め、自分の立場を明らかにして論理的に書き表す力を身につける。
- 目的に応じて文章を読み、広い範囲から情報を集め、効果的に活用する力を身につけさせる。
- 漢字や言葉の意味を理解し、用途に応じて使い分ける力を身につけさせ、正しく美しく文字を書く力を育てる。

☆学習を進めるに当たって

使用教材	<ul style="list-style-type: none"> <li>○教科書：国語（光村図書）、新しい書写（東京書籍）</li> <li>○副教材：国語の学習（浜島書店） 漢字練習ノート（とうほう） 漢字のトレーニング（浜島書店） すらすら基本文法（浜島書店） 国語便覧（浜島書店）</li> </ul>	持ち物	教科書、ノート よくわかる国語の学習、ファイル その他（各単元で必要なもの）
学習の進め方	<p>《確かな学力を身につけるには》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○学習課題を的確に把握し、課題に対して前向きに取り組む。             <ul style="list-style-type: none"> <li>・疑問に思ったことや、わからなかったことを解決する努力をする。</li> <li>・学習課題に対して多面的に観たり考えたりする力をつける。</li> </ul> </li> <li>○自分の良いところを伸ばし、苦手なところにも挑戦する。             <ul style="list-style-type: none"> <li>・わかったこと、解決できたことに自信を持つ。</li> </ul> </li> </ul> <p>《家庭学習》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○予習として、教科書を繰り返し音読する。</li> <li>○毎時間の漢字を復習し、基礎的な力をつける。（「漢字練習ノート」）</li> <li>○復習として、授業で習ったところを、ノートやワーク（「国語の学習」）等で確認する。</li> <li>○宿題・提出物を、期限までに着実に仕上げる。</li> </ul> <p>《定期テスト》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○範囲はテスト発表時に通知する。</li> <li>○授業中に学習したところを復習しておく。</li> </ul>		
学習上の注意等	<ul style="list-style-type: none"> <li>○チャイムが鳴るまでに着席し、授業の予習をしよう。</li> <li>○授業中は先生や発表する人の話をよく聞き、気持ちを集中しよう。</li> <li>○積極的に自分の意見を発表しよう。</li> <li>○黒板に書かれたことは、正確にノートに写し、自分の考えや感想も書き込もう。</li> <li>○授業で配られたプリントはファイルにきちんととじて、整理しよう。</li> <li>○提出物は期限を守って提出しよう。</li> <li>○家庭学習で時間に余裕が生まれたときは、読書・ワーク・漢字の学習などから自分で課題を選択し、自主学習を進めよう。</li> </ul>		

学 習 計 画				評価にあたって	
学期	月	単 元 計 画	試験	評価観点	評価の場面・方法
1	4	詩「野原はうたう」 小説「にじの見える橋」 言葉「話し言葉と書き言葉」	中間      期末	<国語への 関心・意欲・態度> 国語に対する興味・関心 を持って、意欲的に授業 に取り組もうとしている。 学習した内容を振り 返り、自分の力にしよう としている。	・チャイム着席 ・忘れ物 ・漢字テストへの 取り組み方 ・発表意欲 ・行動観察 ・ノートのまとめ方 ・課題などの提出物
	5	説明文「ダイコンは大きな根？」 「ちょっと立ち止まって」 書く「わかりやすく説明しよう」			
	6	話す・聞く 「スピーチ名人になろう」 漢字「漢字の組み立てと部首」 文法「言葉の単位」			
	7	詩「はじめての詩」「詩四編」 随筆「江戸からのメッセージ」 書写（硬筆・楷書） 読書教材、課題作文		<話す・聞く能力> 相手の立場や考えを尊重 し、目的や場面に応じて、 的確に話したり聞いたり することができる。	・話を聞く様子 ・発表の内容・様子 ・討論の内容・様子 ・聞き取りテスト
2	9	小説「星の花が降るころに」 「大人になれなかった 弟たちに……」	中間      期末	<書く能力> 文章の形態に応じ、適切 な構成で書くことができ る。自分の立場および伝 えたい事柄を明確に示 し、自分の考えや思いが 相手に伝わるように書く ことができる	・ノート ・要旨をまとめる ・感想をまとめる ・課題作文 ・読書感想文
	10	記録「シカの『落ち穂拾い』」 古典「いろは歌」 「七夕に思う」 「蓬萊の玉の枝」			
	11	「今に生きる言葉」 話す・聞く 「話題をとらえて話し合おう」 文法「文の組み立て」 言葉「指示する語句と 接続する語句」			
	12	説明文 「流水とわたしたちの暮らし」 漢字「漢字の音訓」 古典「小倉百人一首」 書写（毛筆・楷書と行書） 読書案内、課題作文			
3	1	小説「少年の日の思い出」 言葉「さまざまな表現方法」	学年 末	<言語についての 知識・理解・技能> 漢字を正しく書くことが できる。文脈における語 句の意味を正確にとらえ ることができる。字形や 字の大きさ、配置を整え て書くことができる。日 本語の文法を正しく理解 できる	・定期テスト ・漢字テスト ・ノート ・書写作品 ・課題などの提出物
	2	文法「単語の分類」 話す・聞く・書く 「言葉を探検する」 漢字「漢字の成り立ち」			
	3	詩「木は旅が好き」 小説「坊ちゃん」 書写（硬筆・行書） 読書案内、課題作文			